

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議において、各部署からの活動報告を行ってはいるが複合施設としての「一体的な取り組み」をうまく伝えきれてない。	グループホーム単体での取り組みのみならず「利倉清豊苑として」施設でどう地域に貢献できるかを明確化する。	各事業所からの報告の後に「施設としての取り組み、報告」を盛り込み、災害に対する避難場所のアナウンスやこども食堂などの地域貢献を議題に挙げ、地域の方々の助力を得る。	12ヶ月
2	10	家族様との日常的な意見交換をする機会が少ない。	来苑される家族様のみならず、そうでない方々とも、運営に反映できるような意見交換できる体制作りを行なう。	現状年2回開催している「家族会」を年4回ほどで開催し、家族様へ近況報告させていただくとともに意見交換も行う。 またご意見箱を活用するために1シーズンを目安に、レセプトなどの郵送物に同封し、お書きいただくよう促す。	12ヶ月
3	46	ケア記録においてIT化を導入間もないため、活用しきれていない。	記録漏れないのはもちろん、記録としての意味にとどまらず、カンファレンスやケアプランのデータとして活用できるようにする。	施設のみでなく法人全体でのITについての研修や意見交換を行い、記録としての意味合い以上に、どうデータを引き出せるか研鑽する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。